

仕入価格の高止まりが継続、景況は厳しさ増す

一部業種でダイハツ認証不正問題の影響に懸念

～景況 DI 値は、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス10.5～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比36.8ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス15.7。非製造業では、前月比42.1ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス15.8。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比同水準のプラス5.3。非製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラス36.8、前年同月比5.3ポイント低下のプラス47.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比26.3ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比26.3ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、前月比26.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス15.8。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス5.2。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス21.1。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス10.5となった。製造業では、一部の業種で需要が回復し受注量を確保できているものの、引き続き原材料価格等の高止まりの影響により、収益確保に苦慮している。非製造業では、年末を迎え人流が増加したものの、物価高騰の影響による販売価格の上昇が消費マインドの低下につながり、売上高は前月比、前年同月比ともに大きく減少した。また、宿泊業では今年は旅行支援や割引制度がなく、前年同月比で宿泊客が大きく減少するなど業況が悪化した。県内景況は、ほとんどの業種で原材料等仕入れ価格の高止まりが継続しており、経費の増加が収益を圧迫するなど厳しさを増している。また、今後は製造業、運輸業を中心にダイハツの認証不正問題の影響が懸念されるほか、人手不足の深刻化など問題が山積し、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

11月の全国倒産は、件数8,497件で、（前年同月6,376件、33.3%増）と、前年から2,000件以上上回った。2年連続で前年を上回り、2015年（8,517件）に迫る件数となった。前年からの増加率が33.3%となり、バブル崩壊で最も高かった。

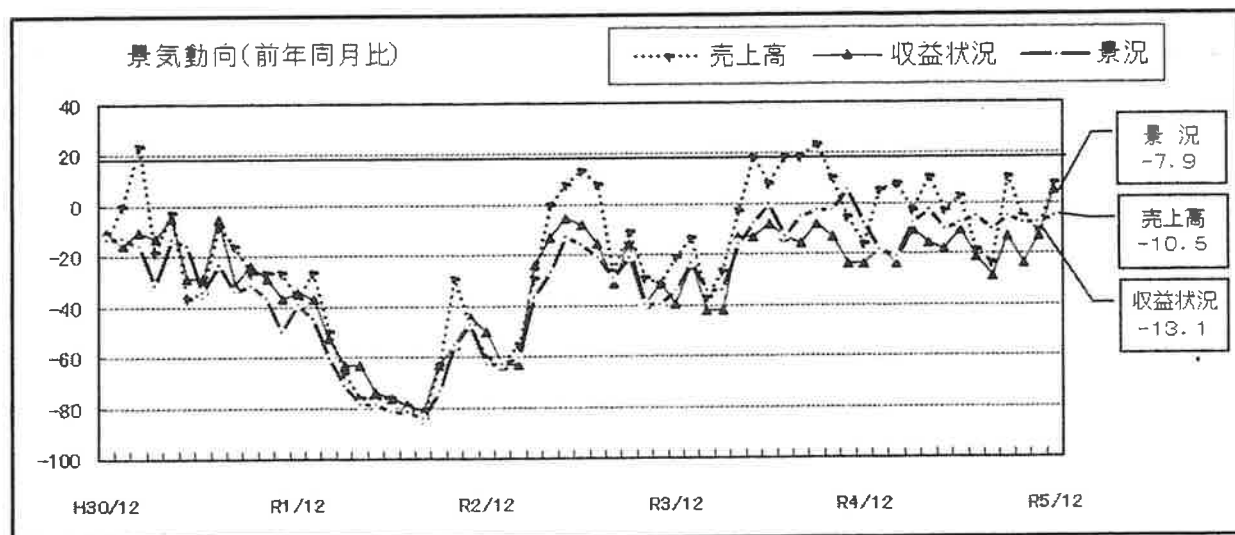
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月1件）、負債総額は0万円（前月4,200万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」）

鳥取県の11月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.26倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.28倍）で、前月より0.07ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.07倍、米子所1.60倍、倉吉所1.44倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.31倍（季節調整値）で、前月より0.19ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比13.8%減少し、有効求人数も14.8%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、医療・福祉（10.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.2%増加、有効求職者数は前年同月比5.2%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.20倍で、前年同月を0.35ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ19.5%減少した。



12月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	36.8%	10.5%	26.3 36.8	31.6%	42.1%	-10.5 -42.1	34.2%	26.3%	7.9 -2.6
(2) 在庫数量	0.0%	31.6%	-31.6 -26.4	25.0%	8.3%	16.7 16.7	9.7%	22.6%	-12.9 -9.7
(3) 販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	36.8%	0.0%	36.8 -5.3	21.1%	5.3%	15.8 -2.6
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 5.2	0.0%	0.0%	0.0 0.0	2.6%	2.6%	0.0 2.7
(5) 収益状況	15.8%	5.3%	10.5 26.3	21.1%	21.1%	0.0 -26.3	18.4%	13.2%	5.2 0.0
(6) 資金繰り	5.3%	5.3%	0.0 5.2	5.3%	15.8%	-10.5 -21.0	5.3%	10.5%	-5.2 -7.8
(7) 設備操業度	21.1%	5.3%	15.8 26.3						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 10.5	10.5%	10.5%	0.0 -5.3	7.9%	7.9%	0.0 2.7
(9) 景 況	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	15.8%	15.8%	0.0 -15.8	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	36.8%	-15.7 10.6	31.6%	47.4%	-15.8 -21.0	26.3%	42.1%	-15.8 -5.3
(2) 在庫数量	0.0%	31.6%	-31.6 -5.3	16.7%	0.0%	16.7 8.4	6.5%	19.4%	-12.9 0.0
(3) 販売価格	21.1%	15.8%	5.3 0.0	52.6%	5.3%	47.3 -5.3	36.8%	10.5%	26.3 -2.6
(4) 取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	5.3%	13.2%	-7.9 7.9
(5) 収益状況	21.1%	21.1%	0.0 26.3	26.3%	31.6%	-5.3 -5.3	23.7%	26.3%	-2.6 10.5
(6) 資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	7.9%	18.4%	-10.5 2.6
(7) 設備操業度	15.8%	26.3%	-10.5 21.1						
(8) 雇用人員	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	5.3%	10.5%	-5.2 10.6	7.9%	13.2%	-5.3 7.8
(9) 景 況	10.5%	31.6%	-21.1 0.1	15.8%	15.8%	0.0 -5.3	13.2%	23.7%	-10.5 -2.6

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、砂糖、油脂等）は依然高止まりが続いているが、卵の価格はピーク時から1パック当たり100円程度下落した。人流が回復し、消費者の購買意欲も高まったうえ季節的な要因も重なり売上が増加、収益も好転した。

醤 油⇒ 販売数量が低下しているものの、価格転嫁で対応したことで売上高はコロナ禍以前並みに回復しつつある。収益状況は前月比で横ばい、前年同月比で好転となった。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 人件費上昇や物価高騰の影響など、業界全体でコストの上昇が問題となっている。販売価格は回復傾向にあるものの、利益率の増加まで至っておらず厳しい状況。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加した。

ニット製品⇒ 2024年春夏物の受注の動きが非常に鈍く、弱含みで推移している。電気代等諸経費の増加により工場の稼働維持に苦慮している。

【家具装備品】

⇒ 円安の影響による原材料等仕入価格の高騰及び燃料価格の高止まりによる輸送コストの増加により収益を圧迫している。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいとなった。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で横ばい、製材品の生産量も前月比で横ばいとなった。合板の生産量についても前月比で横ばいとなった。降雪も少なく丸太の出材は順調であるものの、建築需要の少ない時期でもあり製材品の動きは低調となっている。プレカット加工の稼働率は、前月比70%増加、前年同月比は横ばいで推移した。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに増加で推移した。

【印刷】

⇒ 年末にかけ受注は増加傾向が見られた。1月中旬から年度末にかけて官公庁関係及びねんりんピック関係の入札の開始が見込まれる。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 12月の生コン出荷量は、前月比で約10%減少、前年同月比で約12%増加となった。依然として東部地区を中心に引き合いが弱く、前年割れが続いている。災害復旧工事に動きが出始めたものの、小規模で工事数が多く、小型車

指定のため対応に苦慮している。また、民間工事の案件に動きが見られるも、前年並みには至っていない。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げから生コン価格の値上げがなされたが、一部民間工事計画の見直しや延期が見られる。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内でも民間物件の動きが出ているが、仕事量は少ない。全国的には建築需要の停滞により、地方の中小企業の受注環境は厳しくなっている。機械加工は、家電や産業機械関係の受注でしのいでいるものの、全体的に弱含みとなっている。低価格競争による受注単価減少に加え、短納期要請の対応が当たり前となっており、残業せざるを得ず、人件費等のコストアップで採算は厳しい。また、自動車関係は、ダイハツの認証不正問題で先行き不透明な状況が続いている。

鉄骨加工⇒ 県外発注の工事に徐々に動きが見られ、東部・中部では公共工事の受注を確保できている。鋼材価格の高止まりが続いており、電気代等の価格転嫁も十分にはできておらず、厳しい業況が続くことが予想される。

金属熱処理⇒ 12月の受注状況は一部企業で回復の兆しがみられるも、多くの企業で低迷した状態が続いているうえ、年末のダイハツの認証不正問題の影響によりさらに状況の悪化が懸念される。電力単価は低下傾向にあるものの、その他諸経費は高止まりが続いており、業況回復の見通しは立っていない。

【電気機械器具】

⇒ 原材料調達に係るサプライチェーンは改善され、スムーズに納入されてきている。一方、原材料価格高騰が続いており、利益確保に苦慮している。また、受注が大幅に減少しており、先行きは依然不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、単価の上昇により売上高は前月比、前年同月比ともに大きく上昇した。取扱数量は単価の上昇を受け消費マインドが悪化し、前月比、前年同月比ともに減少した。鮮魚関係では、売上高は単価の上昇に伴い前月比で増加したものの、松葉ガニの単価高騰により前年同月比で減少した。取扱数量は前月比で横ばい、前年同月比で減少となった。

中部地区⇒ 電子帳簿保存法、インボイス制度の開始により、事務負担の増加や混乱が見受けられる。売上高は前月比で増加、前年同月比で減少した。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見される。インボイス制度の開始により、事務量の増加が問題視されている。

水産物⇒ 巻き網は全般に時化が多く操業日数も限られ、若干のブリ、ツバスの水揚げ

げに留まった。九州漁区のサバの入港があり、他地域の不漁の影響から加工用として鮮魚相場を上回る高値で取引された。松葉ガニは不足状態が続き、昨年から同水準の高値安定で推移した。紅ズワイガニ漁は昨年を大きく上回る水揚げとなり、年末年始用の大型ガニは高値となったものの、加工用は比較的安価で推移した。

リサイクル原料⇒ 依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、他地域からの進出により取扱量が減少している。売上高は前月比で横ばい、前年同月比は減少で推移した。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、コロナ禍明けの忘年会シーズンとなり、来街者は増加傾向となったが、大人数での宴会が減ったことから飲食店の大口予約は減少している。仕入れ価格等諸経費の高騰に伴う販売価格への価格転嫁が追いつかず、収益を圧迫し、厳しい状況が続いている。また、生活コストも上昇しており節約モードで消費マインドの低下が継続している。加えて、人手不足が深刻化しており、需要に応えられない状況が継続している。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、インフルエンザの流行により人流が抑制された。国際便の再開によりインバウンドも期待されたが、思うように来街者を呼び込めず厳しい月となった。春のイベントを計画し、鳥取県立美術館のオープンへ繋げたい。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、12月は元町商店街の入り口にクリスマスツリー、通り全体にイルミネーションを設置した。SNSでの反応も良く、商店街の取組みを広くアピールできた。

境港市の水産物小売では、年末の繁忙期を迎え例年以上に来場者も増加し、駐車場が足りなくなるなど多くの人出で賑わった。来場者の増加に伴い売上は増加したものの、1人当たりの客単価は昨年比で減少傾向が見られた。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、観光客の入込数は、12月上旬は前年並みで推移したものの、中旬頃は悪天候により減少、下旬には帰省客もあり大幅に増加した。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加となった。

米子市のホテル・旅館では、年末年始で入込客が増加する時期であるが、業界の旅行支援のほか、割引制度がある隣県に流れたことで宿泊客が前月比、前年同月比ともに減少した。宿泊客の減少に伴い売上高も前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も悪化となった。業界全体では相次ぐ原材料の値上げに対応した収益確保が課題となっている。

三朝温泉では、旅行支援のあった昨年に比べ入込客数は減少している。暖冬の影響によりカニの需要も低下しており、「かにバス」の集客に苦しんでいる。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

羽合温泉では、12月の宿泊客数は前月比、前年同月比ともに25%程度減少となった。昨年は全国旅行支援の実施もあり集客を維持していたが、今年は

割引制度がなく、業況は厳しい。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて1,975台で前月比が約15%減少、前年同月比は約4%の増加となった。中古車は619台で前月比約5%減少、前年同月比は約11%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は13,766台となり前月比で約5%減少、前年同月比は0.3%減少した。

【建設業】

⇒ 11月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額33億円（前年同月比14.4%減少）、件数97件（前年同月比13.4%減少）となった。年度累計（令和5年4月～令和5年11月）は、請負金額689億円（前年同月比18.7%増加）、件数1,269件（前年同月比0.1%増加）となった。公共投資は単月で前年同月比マイナスとなるも、年度累計はプラス基調が続いている。設備投資はプラスに戻るも、住宅投資は単月で大幅に下振れを見せた。建設資材価格の高止まりやエネルギーコスト増により採算はなお悪化している。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は190戸（持家110戸、貸家80戸）で、前月比1%増加、前年同月比31%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 12月の物流は、回復の兆しが見られた荷動きが鈍くなってきており、特に農産物の輸送量減少が顕著となっている。2024年問題への対応が迫ってきているうえ、依然として燃料価格は高止まりが続いており、収益の圧迫が懸念されるなど、問題が山積している。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

西部地区⇒ 燃料価格については前月比で価格上昇が見受けられた。政府補助金により燃料単価は昨年10月に大幅に低下したものの、11月、12月と連続で上昇、高止まりが継続している。原材料高の高騰を受け鉄鋼関連の生産が鈍化しており、さらに自動車製造メーカーの生産も停止するなど今後の物流への影響が懸念される。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。【商店街】
- ・業況を軌道に乗せるため、旅行支援等補助、助成制度の再開を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	36.8
	非製造業	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	0.0
	全業種	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	18.4
在庫数量	製造業	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	-21.1
	非製造業	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	8.4
	全業種	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	-9.7
販売価格	製造業	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-31.5
	非製造業	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	10.5
	全業種	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	-10.5
取引条件	製造業	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	10.5
	非製造業	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0
	全業種	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	5.3
収益状況	製造業	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	36.8
	非製造業	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	5.3
	全業種	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	21.0
資金繰り	製造業	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	5.3
	非製造業	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	5.3
	全業種	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	5.3
設備操業度	製造業	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	36.9
雇用人員	製造業	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0
	非製造業	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	5.3
	全業種	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	2.6
景況	製造業	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	15.8
	非製造業	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	0.0
	全業種	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	7.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売 上 高	製 造 業	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	21.1
	非製造業	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	-21.1
	全 業 種	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	0.0
在庫数量	製 造 業	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-36.9
	非製造業	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	8.4
	全 業 種	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-19.4
販売価格	製 造 業	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	-42.1
	非製造業	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	5.2
	全 業 種	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	-18.4
取引条件	製 造 業	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-10.5
	非製造業	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	5.3
	全 業 種	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-2.6
収益状況	製 造 業	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	42.1
	非製造業	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	0.0
	全 業 種	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	21.1
資金繰り	製 造 業	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-5.3
	非製造業	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0
	全 業 種	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-2.6
設備操業度	製 造 業	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	5.3
雇用人員	製 造 業	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6
	非製造業	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	10.6
	全 業 種	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	0.0
景 況	製 造 業	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	0.0
	非製造業	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-5.3
	全 業 種	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-2.6

情報連絡員報告総括表(令和5年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	0	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3	0	
	木材・木製品	2	2	0	0	2	2	0	4	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1	1	3	0	0	3	1	1	2	
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	
	一般機器	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
輸送用機器																												
その他																												
非製造業	卸売業	2	3	1	0	5	1	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	5	1	1	5	0
	小売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				1	0	0	1	0	0	
	商店街	2	2	0	2	2	0	1	3	0	0	4	0	2	2	0	1	3	0			0	4	0	1	3	0	
	サービス業	0	0	5				2	3	0	0	5	0	0	2	3	0	2	3			1	3	1	0	2	3	
	建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0			0	2	0	0	2	0	
	その他																											
	19	7	10	2	0	13	6	1	16	2	1	17	1	3	15	1	17	1	4	14	1	1	17	1	1	15	3	
	100%	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	89.5%	21.1%	73.7%	5.3%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	78.9%	15.8%	
	非製造業	卸売業	2	3	1	0	5	1	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	5	1	1	5
小売業		1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				1	0	0	1	0	0	
商店街		2	2	0	2	2	0	1	3	0	0	4	0	2	2	0	1	3	0			0	4	0	1	3	0	
サービス業		0	0	5				2	3	0	0	5	0	0	2	3	0	2	3			1	3	1	0	2	3	
建設業		0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
運輸業		1	0	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0			0	2	0	0	2	0	
その他																												
19		6	5	8	3	7	1	7	12	0	0	19	0	4	11	4	1	15	3			2	15	2	3	13	3	
100%		31.6%	26.3%	42.1%	25.0%	58.3%	8.3%	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%			10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	
38		13	15	10	3	20	7	8	28	2	1	36	1	7	26	5	2	32	4	4	14	1	3	32	3	4	28	6
100%	34.2%	39.5%	26.3%	9.7%	64.5%	22.6%	21.1%	73.7%	5.3%	2.6%	94.7%	2.6%	18.4%	68.4%	13.2%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	73.7%	5.3%	7.9%	84.2%	7.9%	10.5%	73.7%	15.8%	

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

			売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
			増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	悪化	不変	悪化	好転	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	悪化				
製造業	食料品	1	0	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0				
	繊維工業	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	2	1	1	1	2	0				
	木材・木製品	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	1	3	0	3	1	0	3	1				
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0				
	化学ゴム																												
製造業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1				
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	1	1				
	一般機器	0	2	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0				
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0				
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	19	4	8	7	0	13	6	4	12	3	1	15	3	4	11	4	1	14	4	3	11	5	2	14	3	2	11	6
	小売業	100%	21.1%	42.1%	36.8%	0.0%	68.4%	31.6%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	57.9%	31.6%
	商店街		1	2	3	0	6	0	3	2	1	0	5	1	0	4	2	0	6	0				0	6	0	1	4	1
	サービス業		1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	建設業		2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	1	3	0				0	4	0	1	3	0
	運輸業		2	0	3				3	2	0	1	4	0	3	0	2	1	2	2				1	2	2	1	2	2
非製造業	その他		0	0	1			1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0
			0	0	2			1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0
非製造業	その他	19	6	4	9	2	9	0	10	8	1	1	16	2	5	8	6	2	14	3				1	16	2	3	13	3
	100%	31.6%	21.1%	47.4%	16.7%	75.0%	0.0%	52.6%	42.1%	5.3%	5.3%	84.2%	10.5%	26.3%	42.1%	31.6%	10.5%	73.7%	15.8%				5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	
	38	10	12	16	2	22	6	14	20	4	4	2	31	5	9	19	10	3	28	7	3	11	5	3	30	5	5	24	9
非製造業		100%	26.3%	31.6%	42.1%	6.5%	71.0%	19.4%	36.8%	52.6%	10.5%	5.3%	81.6%	13.2%	23.7%	50.0%	26.3%	7.9%	73.7%	18.4%	15.8%	57.9%	26.3%	7.9%	78.9%	13.2%	13.2%	63.2%	23.7%